

iPS細胞由来ミエロイド系細胞製品 (iMylc)を欧州で販売開始します。
フランス・フェノセル社との販売流通提携を開始

マイキャン・テクノロジーズ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役：宮崎和雄）は、iPS細胞由来ヒト細胞の製造販売会社フェノセル社（Phenocell SAS, 本社：フランス・グラッセ、CEO: ブリジット・オンテニエンテ）と販売流通提携を締結し、欧州への販売を開始しましたのでお知らせ致します。

フェノセル社はiPS細胞から皮膚や網膜等の各種体細胞を製造し、全世界に販売しています。同社はこれまで血液系細胞製品群の取り扱いがなく、当社と協業製品の開発も視野に入れることができることから提携に至りました。同社は、本日より当社のiPS細胞から誘導したミエロイド系細胞(※1)【iMylc (iPS derived Myeloid lineage cell アイミルク) 細胞】と新型コロナウイルス研究用未成熟樹状細胞(※2)【cMylc (coronavirus optimized Myeloid lineage cell シーミルク) 細胞】を、フランス並びに欧州で提供開始しました。

本提携によりマイキャン・テクノロジーズの製品が、フランス・ヨーロッパで使われるだけでなく、同社の販売する製品分野（皮膚や網膜を対象とした研究分野）でも利用されることが期待できます。

今後、iPS細胞技術の国際提携への貢献を進めるとともに、引き続き研究者や新薬開発において新しい価値提供に寄与します。

■マイキャン・テクノロジーズ社の細胞

当社は独自の再生医療技術を用いてヒトiPS細胞から誘導したミエロイド系細胞を作成します。大量製造できるため、安定的・継続的な供給が可能です。

iPS細胞由来であるので、医薬品候補物質などを加えることで、ヒト血液細胞に近い効果を評価することが可能です。その結果、新薬開発や感染症ワクチン開発の支援に貢献できると考えます。

① iPS細胞由来ヒト未成熟樹状細胞【iMylc細胞】

iMylc細胞は、2019年12月の発売以来、デング熱(※3)やインフルエンザなどの感染症研究や、免疫・炎症研究、機能性食品などの評価に利用されています。

② 新型コロナウイルス研究用未成熟樹状細胞【cMylc細胞】

cMylc 細胞は、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の宿主細胞として、世界で初めてヒト血球系免疫細胞（特に単球や樹状細胞など）に新型コロナウイルスが感染・増殖することが示された細胞であり、2020年10月以来、アカデミア研究者等へご提供しております。新型コロナウイルス感染時に免疫細胞がどのような影響を受けるのか評価ができます。その結果、病態解析、治療剤やワクチン効果の評価等を行うことが可能です。

■フェノセル社

フェノセル（Phenocell SAS）は、フランスグラッセにある細胞の販売と評価系を提供する研究開発型企業です。独自技術を使用し iPS 細胞から種々の体細胞(※4)へ分化誘導し、細胞製造・販売しています。特に皮膚細胞（皮脂細胞、メラノサイト、ケラチノサイトなど）、網膜色素上皮細胞(※5)、神経細胞群があります。また、同細胞は使用した創薬研究、化粧品成分などの有効性評価にも利用されています。

<https://ja.phenocell.com/>

Phenocell SAS

45 Boulevard Marcel Pagnol

06130 Grasse, France

CEO: Brigitte Onteniente

当社では、世界規模の社会課題に挑む研究者に役立てて頂ける細胞の開発を続けていきます。今回、フランス・ヨーロッパから海外エリアを拡充することで、さらに細胞開発事業を加速し、当社の理念である「再生医療技術を活用した血球細胞の提供を通じ、世界のあらゆる人の健康に貢献する」の実現に向け邁進します。

《本件に関するお問い合わせ》

マイキャン・テクノロジーズ株式会社

〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原 1-36 京大桂ベンチャープラザ

担当：阿部

【Tel】 075-381-3008 【E-mail】 info2@micantechologies.com

【URL】 <https://www.micantechologies.com/home-2>

■注釈

※1 ミエロイド系細胞；赤血球などの血液細胞のうち、白血球の顆粒球(好中球、好酸球、好塩基球)や樹状細胞、マクロファージを指す。骨髄系細胞ともいう。

※2 樹状細胞：免疫を担当する細胞の一種。血液や、組織の中に存在し、細菌・ウイルス・化学物質などから最初に防御反応を示す細胞。炎症や免疫の反応を起こす役割を持つ。

※3 デング熱；ネッタイシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症。主に熱帯地域で流行するが、過去に日本でも旅行者などにより持ち込まれたと考えられる流行が発生した。この場合、日本に生息するヒトスジシマカがウイルスを媒介する。

※4 体細胞：体を作り上げている細胞の総称。皮膚細胞、神経細胞、肝細胞など各臓器を作る細胞に分類できる。

※5 皮脂細胞(皮膚から皮脂を出す細胞、ニキビの原因となる)、メラノサイト(皮膚の色素細胞)、ケラチノサイトなど(皮膚の一番外側にある細胞)、網膜色素上皮細胞(目の網膜の一番外側にある細胞、加齢により変性する)

■図表

フェノセル社ロゴ



販売流通提携製品写真 (iMylc)



iMylc 細胞 写真

